国会事項

開会式

第百七十五回国会の開会式は、七月三十日天皇陛下の御臨席のもとに参議院議場において行われた。

衆議院議長は、次の式辞を述べた。

天皇陛下の御臨席を仰ぎ、第百七十五回国会の開会式を行うにあたり、衆議院及び参議院を代表して、式辞を申し述べます。

去る七月十一日参議院議員の通常選挙が行われ、本日、臨時国会が召集されました。

われわれは、新たな構成のもとに、当面する内外の諸情勢に対処して、必要な施策の推進に万全を期さなければなりません。

ここに、開会式にあたり、われわれに課せられた重大な使命にかんがみ、日本国憲法に基づき、おのおの最善をつくしてその任務を遂行し、もって国民の信託にこたえようとするものであります。

次に、天皇陛下から次の　おことばを賜った。

本日、第百七十五回国会の開会式に臨み、参議院議員通常選挙による新議員を迎え、全国民を代表する皆さんと一堂に会することは、私の深く喜びとするところであります。

ここに、国会が、当面する内外の諸問題に対処するに当たり、国権の最高機関として、その使命を十分に果たし、国民の信託にこたえることを切に希望します。

衆議院

議事日程

七月三十日の議事日程は次のとおり。

議事日程　第一号

平成二十二年七月三十日（金曜日）

午前十時開議

第一　議席の指定

第二　会期の件

職員死亡

憲政記念館資料管理課企画調査主幹衆議院参事　菅田育夫は、七月二十八日死亡

参議院

議事日程

七月三十日の議事日程は次のとおり。

議事日程　第一号

平成二十二年七月三十日（金曜日）

午前十時開議

第一　議長の選挙

第二　議席の指定

第三　常任委員の選任

第四　常任委員長の選挙

第五　政治倫理審査会委員の選任

第六　会期の件

辞令

（国土交通委員会調査室長）参議院常任委員会専門員　畠山　肇

願により平成二十二年七月三十一日限り常任委員会専門員を免ずる（七月三十一日）

人事異動

内閣法制局

（農林水産省生産局総務課国際室長）農林水産事務官　黒川　淳一

内閣法制局参事官（第一部）に昇任させる

内閣法制局参事官（第一部）上大田光成

農林水産省に出向させる

（経済産業省経済産業政策局地域経済産業政策課長補佐兼内閣府本府行政刷新会議事務局参事官補佐）経済産業事務官　山影　雅良

内閣法制局参事官（第四部）に昇任させる

内閣法制局参事官（第四部）藤野　琢巳

経済産業省に出向させる（以上七月三十日）

公害等調整委員会

（公害等調整委員会事務局審査官）総務事務官　橋本　政樹

農林水産省に出向させる

（農林水産省大臣官房秘書課付）農林水産事務官　波積　大樹

公害等調整委員会事務局審査官に転任させる（以上七月三十日）

法務省

検事　大谷　晃大

検察官・公証人特別任用等審査会試験委員（検察官特別考試担当）に併任する

併任の期間は平成二十二年十一月三十日までとする

同　上野　友慈

検察官・公証人特別任用等審査会試験委員（検察官特別考試担当）の併任を解除する（以上七月二十三日）

財務省

（外務省在カナダ日本国大使館参事官）外務事務官　寺岡　光博

財務事務官に任命する

大臣官房文書課企画調整室長を命ずる

兼ねて大臣官房文書課業務企画室長を命ずる（七月二十八日）

神奈川県

○人事委員会委員選任

友井国勝委員は、七月九日任期満了し、同月十日次の者が選任された。

人事委員会委員　西森　義博

長野県

辞職　新　旧（副知事）　腰原　愛正（七月九日）

○教育委員会委員任命

長岡秀貴委員は、七月十日任期満了し、同月十一日次の者が任命された。

教育委員会委員　高木　蘭子

鹿児島県

○労働委員会委員任命

井上順夫委員、井上知子委員及び大浦弘美委員は、六月三十日任期満了し、七月一日次の者が任命された。

労働委員会委員　末永　睦男

同　坂元佐和美

○労働委員会委員再任

宮廻甫允委員、森雅美委員、濵潟剛委員、竹下正人委員、永田琢朗委員、西村正夫委員、徳田哲也委員、川村秀一委員、柳正保委員、本坊修委員、岩元義弘委員及び平山勢津子委員は、七月一日再任された。

横浜市

○人事委員会委員選任

井上嘉久委員は、六月三十日任期満了し、七月一日次の者が選任された。

人事委員会委員　岡部　光平

叙位・叙勲

○叙位

正三位に叙する

（東京都立大学名誉教授）　中野　尊正

正四位に叙する

従七位　朝比奈高一　新井　忠夫　齊藤五郎右エ門　吉田　健治

正六位に叙する（各通）

（沼田市議会議員）　井田　孝一

（奈良県野迫川村議会議員）　鶴谷　温朗　野澤　衛

従六位に叙する（各通）

長谷川半吾　早坂　秀夫

正七位に叙する（各通）（以上六月二十四日）

弘中　勝彦　川端　澄男　中山林之助

従五位に叙する（各通）

岩瀬　利平　大山　隆徳　菅　秀穂

正六位に叙する（各通）

石井　郁二　石垣　用秀　大場　匠　河野　進　熊谷　通夫　桑原　義雄　真田　幸男　富田　末次　西濱　弘

従六位に叙する（各通）

井上義一郎　春日　芳美　高橋　八郎　中田　清長　原　旭

正七位に叙する（各通）（以上六月二十五日）